網走市都市機能誘導構想

提言書

― 別冊 ―

令和６年２月２０日

網走市都市機能誘導構想検討協議会

目　　次

網走市都市機能誘導構想検討協議会　委員名簿 ・・・・・・・・・・・・・・・１

参考資料　市内における行政施設の現状 ・・・・・・・・・・・・・・・・・２

参考資料　高規格道路　ルート案①及びルート案②（令和４年度） ・・・４

参考資料　高規格道路　概略ルート（令和５年度） ・・・・・・・・・・・６

参考資料　ハザード別　ゾーニング重ね合わせ図 ・・・・・・・・・・・・８

都市機能誘導構想検討協議会　委員名簿

（敬称略、五十音順）

団体名	役職	氏名	備考
北海道大学公共政策大学院	客員教授	イシイ 石井 吉春	会長
一般公募	団体職員	イシハラ 石原 久美	
オホーツク網走農業協同組合	内部監査室長	オイカワ 及川 清治	
東京農業大学生物産業学部	准教授	オガワ 小川 繁幸	
網走市社会福祉協議会	会長	オニヅカ 鬼塚 勝安	
網走市老人クラブ連合会	会長	カワサキ 川崎 伸一	
西網走漁業協同組合	参事	カワジリ 川尻 敏文	
網走商工会議所	事務局次長	カワバタ 川畑 学	副会長
網走市町内会連合会	会長	クロダ 黒田 幸市	
一般公募	会社役員	サカキバラ 榊原 宏洋	
網走漁業協同組合	参事	ササキ 佐々木 敏治	
網走中央商店街振興組合	理事長	タナカ 田中 雄一	
網走青年会議所	事務局次長	ツチヤ 土屋 宗章	
網走市観光協会	専務理事	ニノミヤ 二宮 直輝	
連合北海道網走地区連合会	会長	ハシモト 橋本 修平	
網走消費者協会	会長	ホンマ 本間 公三	
網走バス株式会社	常務取締役	ミョウジン 明神 健太	
オホーツクキャリアデザインネットワーク	会員	ヤマザキ 山崎 ひとみ	

参考資料

網走市内における行政が管理する施設の現状

市内における行政施設の状況

網走市立地適正化計画において、都市機能誘導区域への誘導対象とされている都市機能は行政、保健福祉、教育・文化、観光交流であり、対象施設は下表の通りです。

表　対象施設と老朽化状況　一覧

都市機能	施設名称	管轄	構造	延床面積	建築年	経過
行政	網走開発建設部	国	RC・3F	7,307㎡	A 1954 B 1967 C 1979	A 69 B 56 C 44
	網走公共職業安定所	国	RC・3F	69㎡	1978	45
	網走税務署	国	RC・2F	909㎡	1962	61
	網走地方気象台	国	RC・2F	926㎡	1977	46
	網走海上保安署	国	RC・3F	1,087㎡	1967	56
	北海道北見方面網走警察署	道	RC・B1/2F	1,159㎡	1966	57
	北海道オホーツク総合振興局	道	RC	10,919㎡	1979	44
	市役所庁舎・西庁舎	市	本 RC・B1/3F 西 RC・3F	本 5,114㎡ 西 1,607㎡	本 1964 西 1958	本 59 西 65
	新庁舎	市	RC・5F	6,445㎡	2024	－

都市機能	施設名称	管轄	構造	延床面積	建築年	経過
行政	消防本部庁舎	市	RC・B1/2F	1,712㎡	1971	52
保健福祉	保健センター	市	RC・2F	1,995㎡	1993	30
	総合福祉センター こども発達支援センター	市	RC・1F	958㎡	1975	47
教育・文化	市民会館	市	RC・B1/3F	3,258㎡	1967	56
	美術館	市	RC・2F	1,173㎡	1972	51
	エコーセンター2000 (オホーツク文化交流センター)	市	RC・4F	8,453㎡	2000	23
	モヨロ貝塚館	市	W・B1/2F	681㎡	2012	12
観光交流	みなと観光交流センター	市	RC/W・B1/2F	1,431㎡	2008	15

※オレンジに着色した施設は旧耐震基準（1981 年以前建設）の建築物

図　都市機能誘導区域と施設の立地状況

参考資料

高規格道路　ルート案①別線整備ルート　及び

ルート案②別線・一部現道改良ルート

令和４年　北海道開発局による「北海道横断自動車道網走線
道路計画に関するアンケート」付属資料より抜粋

対策案の比較

○コントロールポイントを踏まえ、政策目標達成に必要な機能から2つの対策案を設定。

案①　別線・市街地アクセスルート
（別線整備により課題箇所を回避し、網走市街地へのアクセスにも配慮したルート）

- 市街地の交差点を回避し、自動車専用道路なのでサービス速度は確保しやすい
- ルート帯が現国道や市街地から近傍で、アクセス性や津波等災害時の代替性に優れる
- 構造物が多く、比較案の中で事業費は高価

案②　別線・一部現道改良ルート
（別線整備により課題箇所を回避し、女満別市街～網走間において現道改良により課題を解消するルート）

- 大部分が現道改良となるため、速達性は劣る
- 嵩上げにより浸水を防ぎ、避難活動の支援や道路空間を緊急避難所として活用可能
- 現道の課題箇所を局所的に改良するため、経済性で優位

参考資料

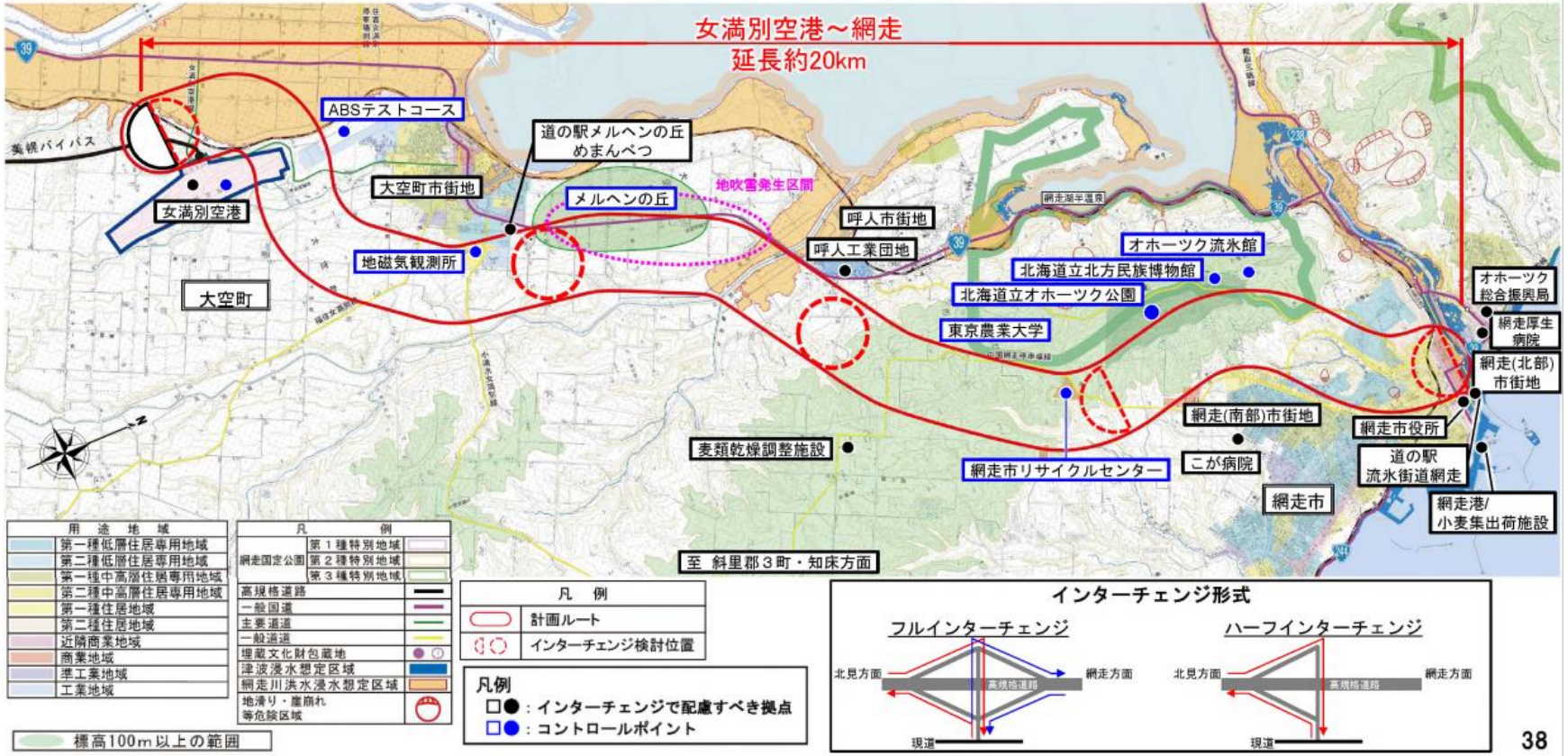
高規格道路　概略ルート

令和５年１２月１９日　社会資本整備審議会 道路分科会
第３５回北海道地方小委員会　資料より抜粋

※抜粋資料は委員会当時の資料であるため（案）表記ですが、委員会のなかで『北海道横断自動車道 女満別空港～網走間の対応方針（案）については、【案①】別線・市街地アクセスルートで了承。』と総括されています。

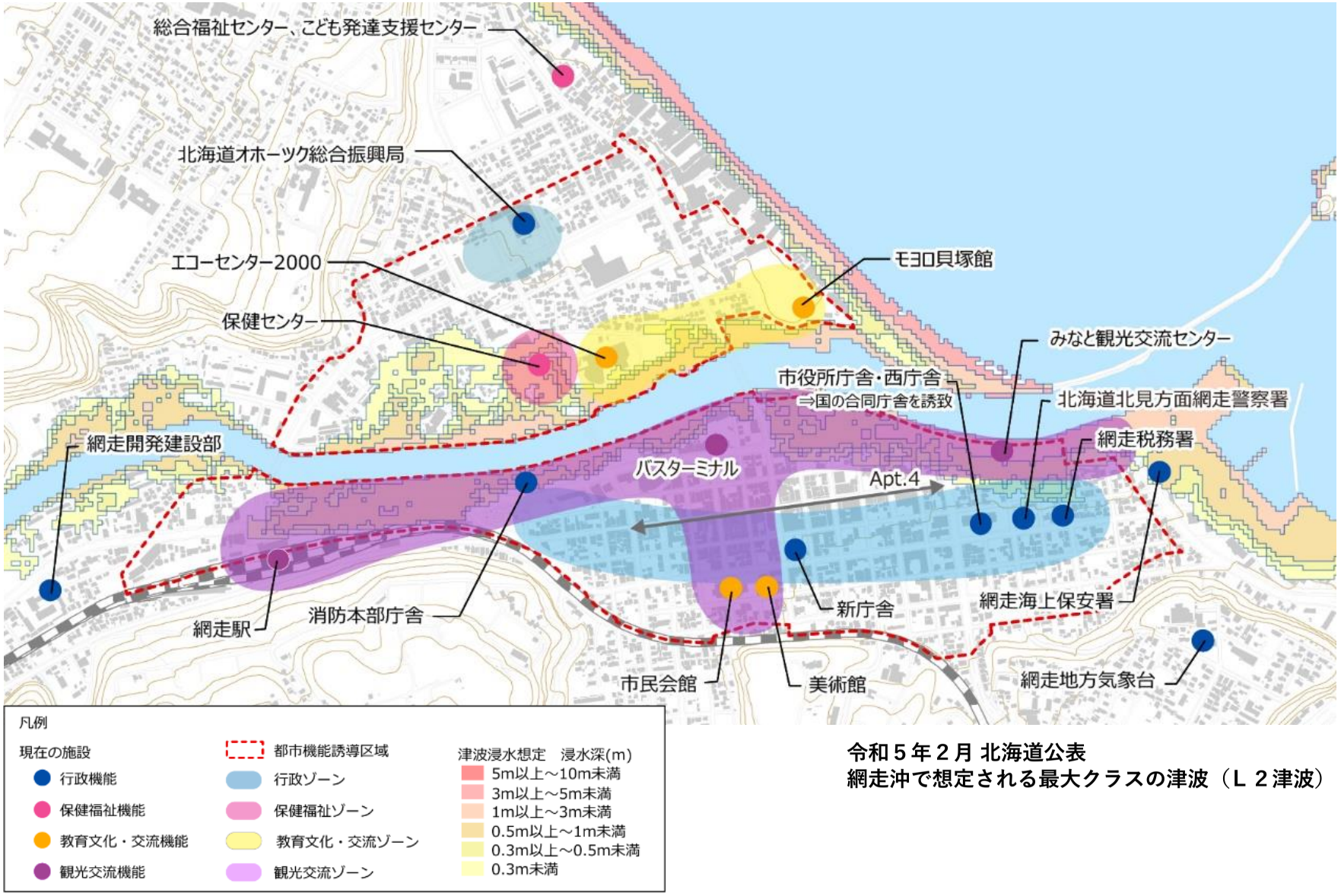
5-2）対応方針(案)

○津波・洪水浸水想定区域や地吹雪発生区間を回避し、市街地・物流拠点・防災拠点は基より、網走市の医療施設からオホーツク管内唯一となる北見市の高次医療施設への速達性・安定性の向上が図られる【案①】別線・市街地アクセスルートを対応方針(案)とする。
○インターチェンジの配置については、市街地・物流拠点・防災拠点とのアクセス性は基より、斜里郡3町の市街地や世界自然遺産「知床」とのアクセス性にも配慮した配置案とする。



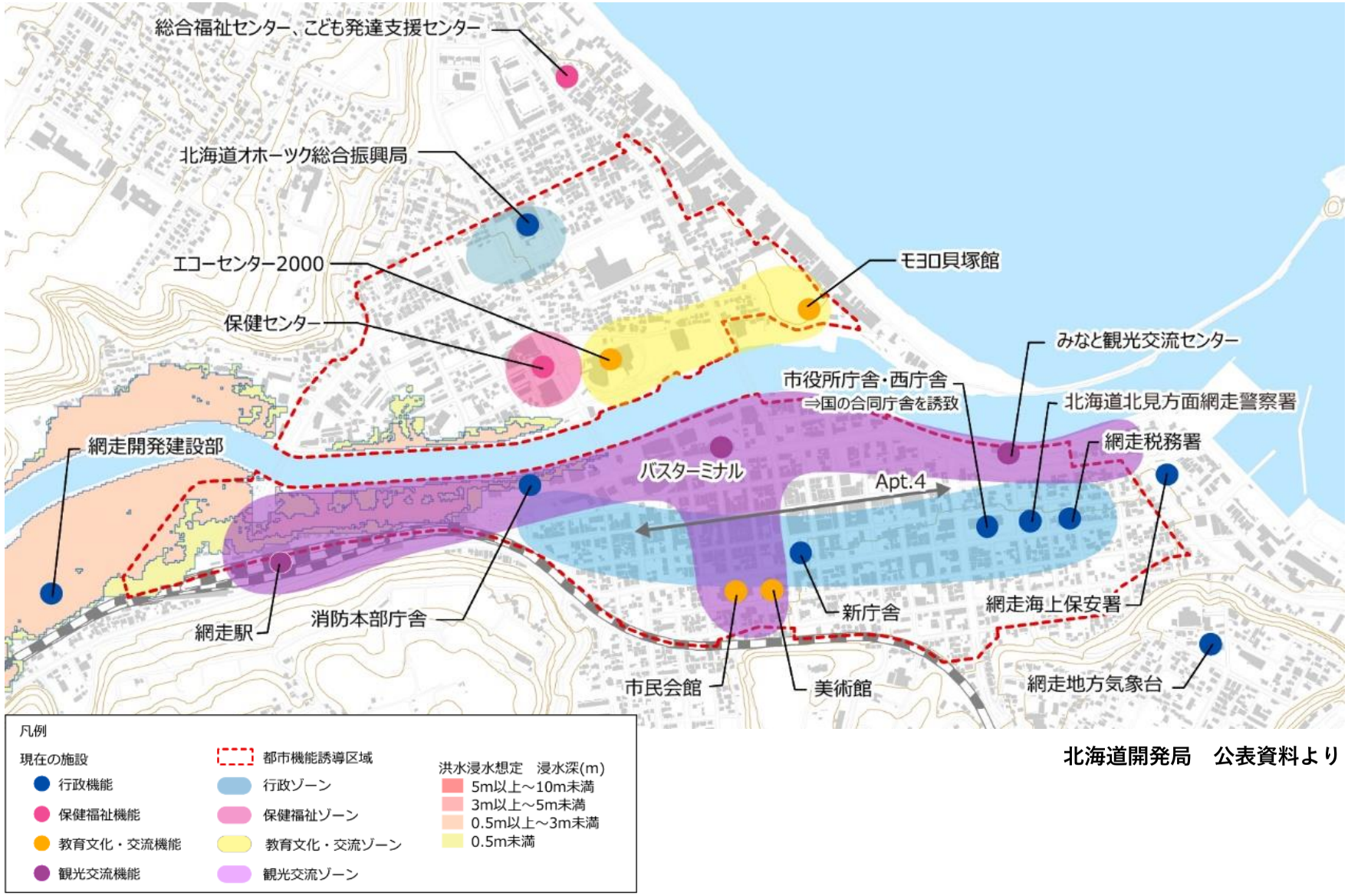
参考資料

ハザード別　ゾーニング重ね合わせ図



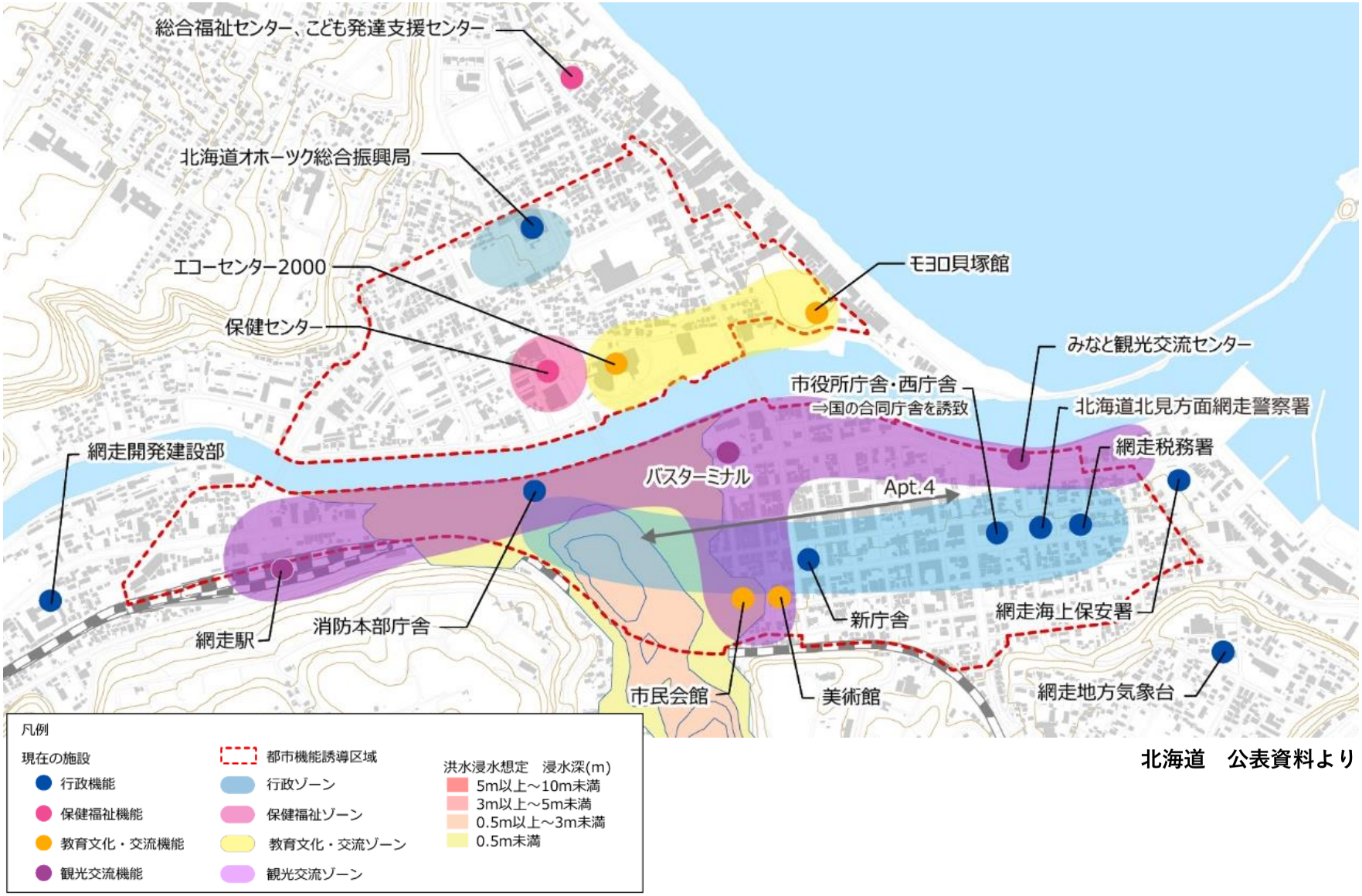
令和５年２月 北海道公表
網走沖で想定される最大クラスの津波（Ｌ２津波）

図　ゾーニング＋津波浸水想定区域



北海道開発局　公表資料より

図　ゾーニング＋洪水浸水想定区域（網走川）



北海道　公表資料より

図　ゾーニング＋洪水浸水想定区域（車止内川）